

## ➤ 18日 土曜

ヨハネ



5:39 あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思って、聖書を調べています。その聖書は、わたしについて証しているものです。

5:40 それなのに、あなたがたは、いのちを得るためにわたしのもとに来ようとはしません。

5:41 わたしは人からの栄誉は受けません。

5:42 しかし、わたしは知っています。あなたがたのうち神への愛がないことを。

5:43 わたしは、わたしの父の名によって来たのに、あなたがたはわたしを受け入れません。もしほかの人がその人自身の名で来れば、あなたがたはその人を受け入れます。

5:44 互いの間では栄誉を受けても、唯一の神からの栄誉を求めないあなたがたが、どうして信じることができるのでしょうか。

5:45 わたしが、父の前にあなたがたを訴えると思ってはなりません。あなたがたを訴えるのは、あなたがたが望みを置いているモーセです。

5:46 もしも、あなたがたがモーセを信じているのなら、わたしを信じたはずです。モーセが書いたのはわたしのことなのですから。

5:47 しかし、モーセが書いたものをあなたがたが信じていないのなら、どうしてわたしのことばを信じるのでしょうか。」

聖書はイエス様について「証言している」と、イエス様ご自身が明言なさいます。聖書は堅苦しい学びだけの本ではありません。また人の思いを遠ざけるような心の通わない信条や戒律の本でもありません。何よりもイエス様を表す唯一の神のみことばなのです。そしてイエス様は愛のお方であり、その愛を伝えるのが聖書なのです。

ですから、聖書を愛する人はイエス様を愛し、イエス様を愛する人は聖書を愛します。イエス様に信頼する人はイエス様に従い、聖書に従うのです。聖書を読むときは、イエス様の「もとに」行くことと思いつつ読みましょう。

モーセは旧約の聖徒ですが、そのモーセに与えられた律法の成就者がイエス様です。神様のみこころは旧約も新約も首尾一貫しているのです。そのような全能の主に信頼して、従いましょう。またその主から与えられた人生を肯定的に生き抜きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

